

0. 課題名

当院で施行された腹膜透析導入におけるカテーテル留置術の手術成績と周術期管理

1. 研究の対象

2023 年 12 月以降に当院で腹膜透析カテーテル留置術を受けられた方

2. 研究の期間

研究倫理審査委員会承認後 ～ 2032 年 12 月 31 日

3. 研究目的および意義

当院では 2023 年 12 月から、腹膜透析のためのカテーテル（チューブ）をお腹の中に安全に留置するための新しい手術方法（PWAT 法）を導入しました。

この研究では、この新しい方法で手術を受けた患者さんの手術中や手術後の経過について、カルテの情報をもとに確認・分析することで、合併症を減らし、安心して治療を受けられるようにすることを目的としています。

また従来法に関しましては、既報の国内外の成績を対照データとして参照し、妥当性を評価します。

4. 研究の方法

電子カルテからみなさまの診療情報を取得させていただき、個人が特定されないよう匿名化して使用します。

5. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・年齢、性別、基礎疾患・併存症
- ・手術の方法、所要時間、術中・術後の合併症
- ・術後の検査結果、カテーテル機能、再手術の有無
- ・腹膜透析導入の状況

6. 研究組織

研究責任者	菅原佳希	泌尿器科	研究統括・データ収集・解析
分担研究者	津坂恭央	泌尿器科	データ収集・解析
	粕谷豊	泌尿器科	データ収集・解析
	開地幸恵	泌尿器科	データ収集・解析
	松野志歩	腎臓内科透析科	データ収集・解析

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。しかしながら、すでに研究に使用されていた場合には、結果の削除など十分なご対応ができない場合がありますことをご了承ください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒173-0015

東京都板橋区栄町 35 番 2 号

東京都健康長寿医療センター

泌尿器科 菅原 佳希（研究責任者）

電話 03-3964-1141 （平日 9：00～17：00）